

選挙結果【落選】を真摯に受け止め
原点に戻ると同時に、一から出直す
「262票」の差を絶対に忘れない

4月7日（日）に投開票されました統一地方選挙・神奈川県議会議員選挙で、ご支援を賜りました皆様に、心から感謝申し上げますと共に、選挙結果「落選」につきましては衷心よりお詫び申し上げます。

敗因につきましては、皆様方より論評をいただき、その中で私が日頃の活動の中で克服できていなかった事など、すべては私の努力不足、力不足であり、不徳の致すところでございます。本当に申し訳ございませんでした。

私が、川崎市議会議員に初当選してからの2期8年と神奈川県議会議員に初当選してからの2期8年の計4期16年間の議会活動は、川崎市、神奈川県の課題を解決して行くことで『市民、県民のくらしが平和で平穏に続く社会をつくりたい』との思いで必至に取り組んできました。その目標の起点は、立候補を決断した平成14年7月の17年前の事であり、最初の一步から今日に至るまで、何ら変わる事なく、今後とも変わる事はありません。

今回の「落選」という選挙結果につきましては、有権者の皆様から頂いた審判であり、そのことを真摯に受け止め、議員では無くなった立場で、目標を達成させるため、どのように活動をして行くべきか、一旦立ち止まり、原点に戻って考え、また一から出直したいと思い始めています。

皆様から頂くご指導やご叱責に、率直に耳を傾け、それを肥やしに2度と同じことを繰り返さぬよう、目標を達成するための財産、今後の活動のエネルギーにして行きたいと考えています。

“一意専心”（怯むことなく、わき目も振らず、ただ目標に向け心を集中する）この言葉、意味をギュッと握りしめ、時に思い出し、“志”高く、課せられた試練を乗り越え、人として成長した姿をお見せできるよう努力して参ります。

これからもご支援、これからご支援、何卒、お願い申し上げます。

飯田 満